

予習・復習や課題を行う学修時間（1週間平均）の分布推移【大学全体】

学生生活実態調査(2024年度から在学時学生実態調査に名称変更)の集計結果からまとめています。

▶サマリー

2025年度調査では、「全く～ほとんどない」の回答層が過去5年で1番減少し、「20時間以上」の層が一番多いという結果が得られた。「3～5時間」の回答層がピークとなっている。

